

風とおしの良い夢のあるまちづくり

ながら俊一 通心

平群町議会議員 vol.②
ながら俊一事務所
〒636-0925
奈良県生駒郡平群町越木塚623-3
TEL・FAX 0745-45-3955



ごあいさつ

平素は、町議会に対しましてご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
令和6年第5回平群町議会定例会が、12月3日～13日まで開催されました。
本年を締めくくる定例会も終わり、新しい年度を迎える準備が始まります。
また、これからも『新しい生活様式』など、環境の変化に対応し、『町民の皆さまに、安心・安全なまちづくり』を心掛け、発信に努めて参ります。
平群町議会のご報告をさせていただきます。

令和6年 第5回 12月 平群町議会定例会	
第5回（定例会 12月3日～13日）	
承認案件 (1件 承認第5号)	専決処分の承認を求めることについて
議案案件 (5件 議案第50号～54号)	職員の勤務時間、休暇などに関する条例の一部を改正する条例についてなど
同意案件 (2件 同意第4号～5号)	固定資産評価審査委員会委員の選任に同意を求めることについてなど
発議案件 (1件 発議第8号)	軽度・中等度難聴児の補聴器購入助成制度の改善を求める意見書(案)

(※明細は議会だよりを参照してください)

諸般の報告では、議会運営委員会より報告がありました。案件は、令和6年平群町議会第5回定例会の議会運営について(令和6年11月21日開催)、令和6年度議会報告会について(令和6年10月10日、10月17日開催)です。続けて、公共交通対策特別委員会より、案件 エヌシーバス(株)からの申し入れについて(令和6年9月26日、10月17日開催)の報告がありました。議会運営委員会では、これからの議会運営の方向性について議論されているようです。また、秋に行われている議会報告の運営方法なども議論されました。交通対策特別委員会の報告は、来春より、路線バスが路線変更することについてです。残念ですが、現状を維持する事が出来ず、減便し、少しルートも変更されます。本町において、公共交通についてのあり方を再構築する時期が迫っていると考えます。

承認第5号については、専決処分の承認を求めることについてです。この案件は、10月27日執行された衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に係る経費です。本町では、15,090千円かかりました。

議案第50号については、職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例についてです。この案件の要旨は、育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律の施行に伴い、育児を行う職員の時間外勤務制限の範囲を変更するためのものです。現行は、3歳に達するまでの子のある職員から小学校就学の始期に達

するまでの子のある職員となりました。これは、働き方改革の一環と考えます。
議案第51号は、令和6年度平群町一般会計補正予算(第5号)についてです。この12月定例会では、各担当課において確定に伴う償還金等の予算措置が行われます。今回は、こども支援課、福祉課、健康保険課などです。歳入歳出総額は、100,186千円です。

議案第52号は、令和6年度平群町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)についてです。主な内容は、交付金の清算に伴う償還金などです。

議案第53号は、奈良県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び奈良県市町村総合事務組合規約の変更についてです。この案件は、県水一体化に伴う事務組合の組織を変更する必要があるからです。

議案第54号は、平群町旧人権交流センター解体撤去工事の変更請負契約の締結についてです。この案件は、旧人権交流センター東館の基礎等の数量が当初設計より増加したためです。原因は、当初から設計図が無く、解体撤去最中に躯体基礎が出てきたためです。

同意第4号は、固定資産評価審査委員会委員の選任に同意を求めることについてです。

同意第5号は、教育委員会委員の任命に同意を求めることについてです。

12月議会、私が一般質問しました内容を、ご報告いたします。

一般質問

年の瀬を迎え、令和7年度の予算編成を本格化する時期となりました。令和6年度は、コロナウイルスといったパンデミックもおさまり、生活も落ち着きを取り戻しつつあるように感じます。

次に、本町の財政状況は少しずつ良い方向に向かっているものの余裕があるとは思えません。しかしながら、町民の皆様に『安住の地、平群』と感じていただける財政政策をお示しする努力が必要と考えます。その観点からお伺いいたします。

1. 部活動改革について

質問要旨

令和6年10月28日(日本教育新聞)で部活動改革実行会議の地域スポーツクラブ活動ワーキンググループは、子どもたちの活動を地域の関係者全体で支えていくという部活動改革の理念をより明確化するため、「地域移行」を「地域展開」などの名称に変更することを掲げた。

また、部活動改革を進めるため文科省は、学習指導要領の解説に部活動ガイドラインに関する記述を加える。と記してありました。今後、本格化する改革に伴い、本町の現状をお聞かせください。

答 弁

(教育委員会総務課)

国においては、部活動改革実行会議の地域スポーツクラブ活動ワーキンググループにおいて、令和8年度以降を「改革実行期間」として部活動改革をさらに進めていくという方針が盛り込まれたと伺っております。

そうした状況の中、令和8年度以降の部活動改革に関する県の方針が今後示される予定となっており、必要な方針や運営内容について情報共有や議論を行い、今後の地域クラブ活動のあり方について決定してまいりたいと考えています。

2. 教育環境の向上と老朽化対策の一体整備について

質問要旨

令和6年10月21日(日本教育新聞)で公立学校施設整備では、老朽化対策と一体で多様な学習活動に対応できる多目的な空間を整備、バリアフリー化、他施設との複合化・集約化、校内ネットワーク環境の整備を推進するとありました。

平群町公共施設等総合管理計画に準じて進められていると考えますが、時世の変化に対応し、今に対応することの重要性を感じてなりません。今後の展開をお聞かせください。

答 弁 (教育委員会総務課)

はじめに、学校施設についてですが、学校は、児童生徒が一日の大半を過ごす施設であり、その老朽化対策は、早急に対応すべき重要な課題であると認識しております。

本町では、構造体の劣化対策や、電気・給排水設備等のライフラインの更新により、建物の耐久性を高めるとともに、快適で機能的な教育環境を確保し、多様な形態での学習活動に柔軟に取り組んでまいります。各小学校についても、建物の経年劣化等に対しては、状況の把握に努め、優先度を勘案しながら補修等の対応を行っております。

また、校内ネットワークについても、補正予算で学校ネットワークアセスメント調査を実施し、次年度ネットワークの健全化に向けて機器の更新や教職員が使用する校務系端末の入替等を実施する予定をしております。今後も、施設設備の改修や更新等を適切に実施し、児童生徒が快適に学校生活を送ることができる環境づくりに努めてまいります。

3. 社会体育事業について

質問要旨

本年度より、平群町民体育大会に変わり、秋のイベントとして平群町スポーツフェスティバル2024が開催されました。様々なスポーツの体験、パフォーマンスショー、地域クラブによるダンス披露会などが、催されました。

また、社会体育事業として「軽スポーツデー」を開催するなど町民の皆様の多様な社会教育活動に貢献して頂いていると、感謝しています。

ただ、軽スポーツの備品を準備するにあたり窓口が一元管理されておらず、準備にひと苦労あると聞いています。大人から子どもが気軽にできる軽スポーツの普及のため、どのように進めていくべきと考えておられるか、お聞かせください。

答 弁 (教育委員会総務課)

教育委員会で所有している軽スポーツの備品については、体育施設の利用と同時に使用される場合は、総合スポーツセンターの窓口で貸し出し、使用されます教育委員会の窓口への備品の使用に関する問い合わせについても、指定管理者である平群町地域振興センターと情報共有を行い、取り次ぎも行っているのが実情としてございます。教育委員会が所有していない備品(モルックやスポーツ輪投げ等)については、所有する団体の意向(借用が可能であるか、情報提供していいか)も踏まえて、可能な範囲で地域の方々の使用ニーズに対応できるよう、情報提供に努めてまいりたいと考えます。

4. 竜田川の河川整備を

質問要旨

歴史ある平群町は、時代まつりが開催することができる観光資源を有しています。平群ハイキングマップには、東西に北部、中部、南部、また、平坦コースなど色々な散策コースを紹介されています。観光ボランティアガイドの会の皆さんは、大和路平群道の駅を拠点に平群町の歴史の良さを発信して頂いています。日々、平群町でお住まいの方々も朝、夕の散歩に活用されていると聞いています。

次に、平群町の中心を流れる竜田川ですが、桜並木が充実している場所もありますが、河川敷が途切れているところもあり、上手く連動していない点です。中学生の登下校時に川沿いを歩き、登下校しているのを見かけます。

近年、道路環境の整備を重きにおく傾向がありますが、遊歩道としての位置付けとして考える必要があると考えます。

今後の取り組みについて、お聞かせください。

答 弁 (都市建設課)

平群町では、町内ボランティア団体、河川沿いの自治会、及び郡山土木事務所などで構成する「まほろば遊歩道推進の会」が主体となり、平成19年に「竜田川まほろば遊歩道」整備構想を策定し、事業を進めております。

議員ご指摘の櫛原橋西詰から金勝寺南側までの遊歩道が途切れている区間については、現在、櫛原川を渡る橋梁が老朽化により朽ちており、その他の箇所についても、荒地で通行不能となっていることから、迂回ルートを設定しております。

この未整備の区間は、「勸請縄」や、川の真中に大きな岩が立つ「謎の巨岩」が見える景観の良いルートになりますが、整備には橋梁の架け替えや殆どが個人の所有地となっていることなど、非常にハードルが高い状況であることから、これまでも奈良県に対して整備の要望をして参りましたが、事業化には至っておりません。

また、今後の取り組みについては、例年、桜のライトアップや鯉のぼりの掲揚、パンジーやビオラ等の花の植栽活動のほか、福貴親水公園では、奈良県により新たに遊具の設置や、役場南側の吉新2号公園前では、これまでに防災かまどベンチが設置されており、更にベンチ等の施設を設置することで、憩いの場を創出するとともに、新たに桜の植樹についても、関係団体とも協議をしながら進めて参りたいと考えております。

5. これからのまちづくりについて

質問要旨

「緊急財政健全化計画」を履行し、将来負担比率、実質公債比率、経常収支比率などは、少しずつ健全化されてきています。

また、毎年度の予算案についても住民のニーズに的確に応える努力がうかがえます。ただ、近年の予算案において、顕著である点は、民生費や衛生費の占める割合が増えつつある傾向です。少子化高齢化の進む本町において、やむを得ない事ですが、新しい布石をうつ準備が必要と考えます。総合計画を基調とし、皆さんとともに、輝く「へぐり」の未来を創るとありますが、これからをお聞かせください。

答 弁 (政策推進課)

近年の予算案で、民生費、衛生費が増加傾向にあるとのことですが、民生費には、国保や介護、後期高齢、障害福祉、児童手当などの扶助費、こども園、学童保育

などの児童福祉の関係経費、衛生費には、各種の検査検診業務や、感染症など予防医療、母子保健などの保健関係の経費や、廃棄物処理、し尿処理などの衛生関係の経費など住民生活に直結するいわゆる社会保障関係経費が多く含まれています。

そのため、高齢化や制度上の拡充見直しなどによる対象者の増加や、事業量の増加により今後の見通しにおいても予算額は増加傾向になると見込んでおります。

これから、中学校大規模改造、役場庁舎建設など大きな財政出動が見込まれる中、まずは、緊急財政健全化計画を着実に進めることが、現在すべきことであり、新年度の予算編成においても厳しい財政状況のなか、将来の平群町につながるよう取り組んでまいります。

終わりに

令和6年第5回定例議会も終わり、今年度を振り返ると定例会と臨時会は、計5回開かれました。直近の2年間は、臨時会が、度々行われましたが、これは、国からの臨時交付金などの審議が行われるためでした。本年の議会運営は、本来の姿に戻りつつあるように思えます。また、町民の皆様方の日常生活も少しずつ落ち着きを取り戻していると感じています。これからは、平群町の課題を解決し、次に進むべきビジョンを描く時がきたように思えます。今年度の行事やイベントの開催が町の賑わいをより一層前向きに進めて頂いていると考えるからです。

行政においては、年明けから本格的に令和7年度の準備に入る事となりますが、現状は、町民の皆様方もご存知の通り財政面で、少しずつ改善されてはいますが、大変厳しく、安堵できる状況ではありません。たくさんある公共施設に関しては、老朽化が進み、施設管理の重要性が指摘されています。今後また、大きな投資的経費が、必要な時期がくることが予想されています。

これからも、議員活動を通じて皆さまに喜んで頂けるように邁進してまいります。

これからも、よろしくお願いたします。



皆様の声を、ぜひ、
ながら俊一にお聞かせください！

〒636-0925

奈良県生駒郡平群町越木塚 623-3

ながら俊一事務所

TEL・FAX 0745-45-3955

携帯電話 090-7844-8073

<https://nagara-shunichi.com/>

Mail :nagara@nagara-shunichi.com

